

クリーンニング工場

重油35%削減

ハンバークレストラン「びっくりドンキー」を展開する「アレフ」（札幌市）は22日、クリーンニング工場の重油使用量を削減するシステムを開発したことを明らかにした。札幌市南区のクリーンニング会社「サークルクリーン」がすでに7月中旬からシステムを導入、重油の使用量を前年同期比で約35%削減させている。アレフは今年から環境ビジネスに本格参入しており、クリーンニング店への省エネ提案事業はその一環。

今回、アレフが開発したシステムは、クリーンニング工場の中でも、リネンサプライ工場が対象。リネンサプライ工場を経営するクリーンニング店では、汗や汚れの付いたシーツやタオル、ナプキンなどを回収、洗濯・乾燥して清潔なシーツやタオルにして、ホテルや飲食店に届けている。

これまで、洗濯・乾燥時に出る排気熱や熱排水は廃棄されていたが、ヒートポンプで回収し、乾燥機への給気や洗濯機の温水供給に再利用する。リネンサプライの工場は全国に約300店あるという。

現在、初期投資で約1億2000万円かかるため、アレフは3年後には7000万円程度に抑え、普及につなげたいとしている。サークルクリーンの覚幸龍一社長は「データの提供を通し、システムの普及に一役買いたい」としている。

アレフ 省エネシステム開発

排気熱・熱排水 再利用で実現